

# 市史資料室だより

平成 24 年 12 月発行  
第 8 号

発行 秦野市教育委員会 生涯学習課文化財班(市史資料室)  
TEL 0463-83-8380 FAX 0463-83-8381  
E-mail sisi@city.hadano.kanagawa.jp

〒257-0042  
秦野市寿町 3 番 1 2 号  
(はだのこども館内)

## 地名から大根地区をながめる その三 ～矢名八窪～

秦野市大根地区は秦野市の東部に位置し、地域の中心部を大根川<sup>1</sup>という河川が流れている。大根地区のうち北矢名・南矢名は、地域そのものが大根川を中心とした谷戸のような地形となっている。そしてこの地域の旧来からの集落は谷戸の尾根の麓にあたる微高地に築かれていた。

またそのような場所は谷戸という地形の特性上、丘陵地の窪んだような場所に見えることから「クボ（久保・窪）」がつく地名が多く、築かれた集落名にも「～窪」が見られることから「北矢名・南矢名にはクボのつく地名が多い」ことを表す「矢名八窪（やなはつくぼ）<sup>2</sup>」という言葉が存在する（表-1、図-1）。

表-1 北矢名・南矢名の「クボ」のつく字名 <sup>3</sup> (五十音順;右端の○×は天保期の集落の有無)				
字名	よみ	所在する大字	地名の原義の類推	○/×
井戸窪	いどくぼ	南矢名	湧水の見られる窪地	×
漆窪	うるしくぼ	北矢名	湿地になっている/漆のある窪地	×
桂窪	かつらくぼ	南矢名	崩壊地形のある窪地	×
北久保	きたくぼ	同上	街道 <sup>4</sup> の北側にある窪地	○
金剛久保 <sup>5</sup>	こんごうくぼ	同上	川のある窪地	×
蛇久保	じゃくぼ	北矢名	湾曲した/砂礫質の窪地	○
太夫窪	たいくぼ	同上	弛んだ(歪な)形状の窪地	○
西ノ久保 <sup>6</sup>	にしのかくぼ	同上	西側 <sup>7</sup> にある窪地	×
平内久保	へいなくぼ	南矢名	粘土質の窪地	○

1 源頭～田中川合流点は秦野市管轄の準用河川、田中川合流点～鈴川合流点（終点）は二級河川。

2 石塚利雄『続・秦野地方の地名をたずねて 秦野地方の地名探訪』秦野高速印刷、1980年、33頁

3 表記ブレのある字名が多いが、ここではその一例のみを掲載する。

4 ここでは平塚宿（神奈川県平塚市）から十日市場（秦野市本町地区）に向かう曾屋道という街道。

5 天保期に作られた『相模国大住郡南北矢名村絵図』に見られる字名。

6 同上

7 ここでは北矢名にある谷戸という集落の西側。



図-1 北矢名・南矢名の「クボ」のつく字名の所在<sup>8</sup>

北矢名・南矢名のクボのつく字名を列挙すると表-1 のようになり、また各字名の所在は図-1 のようになる。このうち古くから集落があった<sup>9</sup>のは北久保・蛇久保・太夫窪・平内久保の四ヶ所である。クボのつく地名だけををとってみても、その窪地がどのような所かを端的に表現しているものが多いことが解る。大まかな意味は表-1 の通りだがさらに詳しく説明すると以下のようなになる。

### 井戸窪 (いどくぼ：図-2)

小田急線北側にあり、地形としては丘陵地から降りてきた場所にあたる。このような場所は地下水がたまりやすい地形であるため、地名の通り井戸が設置されていたこともあると考えられるが現在当地に井戸は見当たらない。なお井戸窪の名称はバス停・東名高速道路の高架橋・子供会の名称にも使われている。



図-2 井戸窪



図-3 漆窪近辺の沢

### 漆窪 (うるしくぼ：図-3)

北矢名の谷戸集落の奥にある秦野農協の北矢名さわやか農園の南側の斜面一帯の地名。字面からは「漆の生えている窪地」のように取れ、実際に年貢として納める漆を作っていたという話が地元には伝わっている。また近くを諏訪ノ沢 (すわのさわ) など複数の沢が流れていること、また音が「潤し (うるし)」に通じることから「湿潤な窪地」の意味ともとれる。

<sup>8</sup> Google map より (平成 24 年 11 月 11 日 13 時半閲覧)

<sup>9</sup> ここでは天保期に作られた『相模国大住郡南北矢名村絵図』にみられる集落

### 桂 窪 (かつらくぼ : 図-4)

南矢名のうち、四丁目と五丁目の境を中心にした地域で「カツラ」は崩れやすい地形をいう言葉で、「崩れやすい窪地」の意味と推測される。この「カツラ」は千葉県勝浦（かつうら）市や和歌山県那智勝浦（なち一）町の「勝浦」と同じ語源といわれている。現在では公式な字名としては消失したが、かつらくぼ児童遊園地（公園）や大根小学校の雅称「桂が丘（かつらがおか）」にその名前を残している。



図-4 桂 窪



図-5 北久保

### 北久保 (きたくぼ : 図-5)

南矢名西部の下大槻に近い地域で、東名高速と小田急線に挟まれた集落である。南矢名と下大槻の境になっている曾屋道（そやみち）という街道の北側に位置することからの名称と思われる。なお曾屋道はかつてこの近辺の主要な街道とされた街道である。

### 金剛久保 (こんごうくぼ : 図-6)

『相模国大住郡南北矢名村絵図』に「こんご久保」という形で登場する。現在の南矢名四丁目の大根中や秦野精華園の北側にある窪地を指した名称で、「金剛（＝こんご）」が古語の「こごし」に由来する「岩がゴツゴツ重なってけわしい所（の窪地）」、または「カハ（川）・ゴ（処）」の転じたもので「川のある所（の窪地）」の意味と推測される。筆者は窪地であることと湧き水の多い土地であることから、後者の説が有力と考えている。



図-6 金剛久保



図-7 蛇久保橋の名標

### 蛇久保 (じゃくぼ : 図-7)

北矢名のうち東名高速を越えたおおね台団地の東側の窪地で、大根川に合流する塩河内川（しおこうちがわ）の上流での名前（蛇久保沢または蛇久保川）にもなっている。名前は「へびのように曲がりくねった窪地」または「砂利の多い窪地を意味する“砂久保（じゃくぼ）”の砂の字が蛇に差し替わったもの」などの説がある。どちらの説が正しいかはさておき、川と密接な関係にある地名であることは確実にみられる。



図-8 太夫窪

### 太夫窪 (たいくぼ：図-8)

東海大学前駅北口を出てすぐの高台を北側に下ったあたりで、近くには「みなみたいくぼ公園」も所在する(＝南太夫窪)。この地名は高台のそばで、川も近いことから「たゆんだような複雑な地形をした窪地」の意味と推測される。「たゆ」に「太夫」と当て字され、後に「たい」となり「たいくぼ」と発音されるようになったと推測される。

### 西ノ久保 (にしのかほ：図-9)

北矢名の谷戸集落の奥にあるさわやか農園のある台地の東側にある諏訪ノ沢沿いの窪地。

名称は田中(たなか)・谷戸(やと)などの集落からみて西側に位置していることからか。



図-9 西ノ久保

### 平内久保 (へいなくぼ：図-10)

南矢名のうち、小田急線と東名高速が交差する地点の北側にある集落の名前で、宿矢名自治会が設置している看板にも記載されている。地名の由来はこれといった決め手になる説はないが、粘土をあらわす「ヘナ」+窪で「粘土質の土壌の窪地」の意味、あるいは平家出身の内舎人(うどねり：天皇の身辺警護にあたった役職)に由来する男性名の「平内(へいない)」に由来するなどが考えられる。



図-10 平内久保の地名が示された看板

このように、矢名八窪はそれぞれが個性豊かな窪地である。土地にはさまざまな性質をもったものが存在し、地質をみても粘土質・砂礫質・火山性土壌などがあり更に乾燥地・湿地など乾湿の条件もある。地名はまさにそれらを端的にまとめ上げたものであり、我々にその土地の意外なものを伝えてくれるのかもしれない。

### 参考文献

楠原佑介・溝手理太郎『地名用語語源辞典』(東京堂出版 1983年)、秦野市『秦野市史 第二巻』(秦野市 1982年)、石塚利雄『秦野地方の地名をたずねて』(秦野高速印刷 1976年)、石塚利雄『続・秦野地方の地名をたずねて 秦野地方の地名探訪』(秦野高速印刷 1980年)、秦野市『秦野市字界全図』(秦野市 1974年)、宇田川大介「おおねの語り部」『おおねさんぽ』(東海大学文学部広報メディア学科メディアプロジェクト活字チャンネル 2010年～：<http://ohne-sanpo.com/>)、松村 明『大辞林 第三版』(三省堂 2006年)、はだのまちづくりフォーラム『秦野ふれあいの道がいで 大根地区編』(夢工房 1994年)

秦野市教育委員会 教育部 生涯学習課 文化財班(市史資料室)；  
東海大学大学院 文学研究科 文明研究専攻 博士課程前期二年 宇田川 大介

## 活動紹介

### はだの史・発見展「秦野の災害写真展」

平成 24 年 4 月 4 日（水）～5 月 6 日（日）

南公民館 1 階ロビー

平成 24 年 9 月 1 日（土）～9 月 15 日（土）

本町公民館 1 階ロビー

平成 24 年 10 月 3 日（水）～10 月 30 日（火）

市役所本庁舎 1 階ホール

平成 25 年 3 月 1 日（金）～3 月 31 日（日）

東公民館（予定）



災害の歴史への理解を深め防災意識を高めていただくため、関東大震災や台風の被害状況など秦野市域の災害写真を紹介しました。

### はだの史・発見展「はだの葉たばこ」

平成 24 年 7 月 1 日（日）～31 日（火）

南公民館 1 階ロビー

秦野の発展を支えた葉たばこ作りについて、24 点の写真で紹介しました。

また「南地区の葉たばこ生産関連遺産」と題し、高橋隆博氏によるたばこ乾燥室についての調査報告をあわせて展示しました。



### はだの史・発見展「おじいちゃん・おばあちゃんがこどもだったころ」

平成 24 年 8 月 1 日（水）～8 月 31 日（金）

はだのこども館 1 階・市史資料室前

平成 24 年 9 月 2 日（日）～10 月 31 日（水）

南公民館 1 階ロビー



昭和 30 年代に撮影されたこどもたちの写真 36 点をパネル展示し、当時の秦野の様子やこどもたちの日常を紹介しました。

### 「クイズ・昭和にタイムスリップ！」

平成 24 年 8 月 1 日（水）～8 月 31 日（金）

はだのこども館 1 階・市史資料室前

8 月に実施した「はだの史・発見展 おじいちゃん・おばあちゃんがこどもだったころ」にあわせて、秦野市が誕生した昭和 30 年頃の様子を知るクイズを行いました。



### はだの史・発見展「南地区の地名」

平成 24 年 8 月 1 日（水）～8 月 31 日（金）

南公民館 1 階ロビー

平成 24 年 9 月 8 日（土）～10 月 31 日（水）

はだのこども館 1 階・市史資料室前

南地区の地名（大字・小字）をピックアップし、25 枚のパネルで解説しました。



### 平成 24 年度「秦野たばこ資料展」

平成 24 年 9 月 22 日（土）、23 日（日）

（本町公民館主催の「プチ博物館・秦野たばこの資料展」は、9 月 17～30 日）

本町公民館 1 階ロビー

秦野の名古木出身の関野作次郎氏によって開発された「たばこ点播機<sup>てんぼまき</sup>」や同氏作のたばこ写生画、たばこ葉輸送のため生まれた「軽便鉄道」に関する資料などを展示しました。



### 本町地区の町並み探訪・関東大震災のあとさき

平成 24 年 9 月 15 日（土）

本町四ツ角周辺

関東大震災以後、秦野の町がどのような復興を遂げたかを町並みを見て歩きながら学びました。



### はだの史・発見展「十日市場の地名」

平成 24 年 11 月 1 日（木）～12 月 28 日（金）

はだのこども館 1 階・市史資料室前

本町地区の地名（大字・小字）をピックアップし、16 枚のパネルで解説しています。



### はだの史・発見展「報徳を広めた功労者—安居院庄七と草山貞胤—

平成 24 年 11 月 5 日（月）～12 月 5 日（水）

南公民館 1 階ロビー

報徳仕法を実践し広めた功労者である安居院庄七、草山貞胤について写真と解説パネルで紹介しました。



市史資料室には、皆さんのちょっとした疑問に答えてくれる、秦野の歴史や自然に関する本をはじめ、神奈川県史や県内・県外の自治体史などが数多く揃っています。

本や資料の閲覧や貸し出し、秦野市史刊行物の販売などを行っています。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

市史資料室 秦野市寿町 3 番 1 2 号(はだのこども館内)

